

サミット

成功に向けて

鳳来町長 穂積 亮次
 いよいよ棚田サミットの
 年が明けました。棚田は先
 人たちの汗の結晶であると
 ともに、日本の山里のもつ
 とも美しい光景を代表して
 います。

私たちにとって「景観」
 は、たんに眺めるだけのもの
 ではなく、心をこめてい
 つくしみ、はたらきかけ、
 その恵みをもらい、守り続
 けられるようにと祈る、そ
 んな対象でもあります。
 「耕して天にいたる。貧な
 るかな」と言ったのは、江
 戸時代に日本の棚田を見た
 朝鮮の使節だったそうです。
 貧しく、過酷な状況だから
 こそ丹精こめてつくられた

棚田ですが、日本人にはそ
 の貧しさを恥と思わず、反
 対に内なる矜持とする独特
 の心性がありました。

四谷の千枚田を見上げる
 たびに、私はその心性に打
 たれます。石積みを一つ一
 つ抱えた時から比べれば、
 はるかに豊かで便利になっ
 た時代ですが、それでもな
 お心の奥底で持ち続けたい
 と思う遺伝子です。

耕された棚田は、心を耕
 してくれる——この価値が
 いっそう重みをます時代に
 入りました。そのときに私
 たちは、ここ鳳来町「四谷
 千枚田」で『第十一回全国
 棚田(千枚田)サミット』を開
 催します。その欲びと責任
 を胸に必ず成功させたいと
 期しています。

孫つれて春を探しに千枚田

四谷村雲よね子

霜柱寒さ身にしむ棚田道

舜二

日程は、九月二日、三日
 の二日間です。残された期
 間は多くはありませんが、
 私は町長として、サミット
 の成功に全力をつくす決意
 です。実行委員会を中心に、
 地元の皆さんや支援者の皆
 さんにも、ふさわしい役割
 を担っていただき、おほ
 ぜいの力で盛り上げていき
 たいと思います。

全国から集まる山里を守
 る熱き思いを、町の総力を
 あげて受け止め、新しい地
 域づくりの肥やしとできる
 よう、創意と工夫をこらし
 て鳳来流のサミットをとも
 につくりあげて参りましょ
 う！

サミットまで

あと225日

2005年全国棚田(千枚田)サミット実行委員会を 構成する機関団体(順不同)

鳳来町、鳳来町議会、鳳来町教育委員会、鳳来町小中学校校長会、愛知東農業協同組合、鳳来町農業委員会、穂の国森林祭 2005 実行委員会、鳳来町森林組合、鳳来町商工会、鳳来町観光協会、鳳来町観光旅館協同組合、鳳来町観光土産品協会、鳳来町農林水産物直売所連絡協議会、農村輝きネット・鳳来、鳳来町海老地区委員会、鳳来町四谷地区、鳳来町連合地区、鞍掛山麓千枚田保存会、連谷公民館、愛知県新城警察署、愛知県新城設楽事務所、愛知県新城設楽農林水産事務所、愛知県新城設楽建設事務所 (委員は各機関団体の代表者)

2005年全国棚田(千枚田)サミット実行委員会事務局

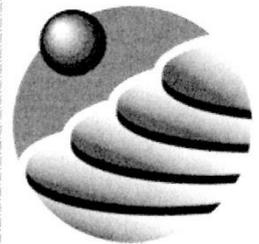
(鳳来町役場 産業観光課内)

〒441-1692 愛知県南設楽郡鳳来町長篠字下り箆 1-2

tel.(0536)32-1984(直)・fax.(0536)32-1170

ホームページアドレス

<http://www.town.hourai.aichi.jp/>



全国棚田(千枚田)連絡協議会



愛・地球博

サミット実行委員会発足

今年の九月二日、三日に開催される第十一回棚田サミットの実行委員会が一月十七日に発足しました。

当日は、サミット実行委員会を構成する機関団体の代表者が初会合して「事業計画」①棚田サミット開催

経緯について ②棚田サミット実行委員会規約について

③役員を選任について ④棚田サミット開催日程について ⑤棚田サミット開催スケジュールについて ⑥その他等が討議され、承認されました。

サミット開催まであと2

中山間地域等直接支払交付金

一 中山間地域等直接支払制度の継続的な実施 一

棚田対策に関して非常に重要な施策となっている「中山間地域等直接支払交付金」について、12月22日の閣僚折衝の結果、5年間継続することが決まりました。

趣旨(概略)

中山間地域等直接支払制度の実施により、多くの農用地において適切な農業生産活動等が継続されるとともに、耕作放棄の発生防止、多面的機能の確保が図られている。

平成17年度以降においては、中山間地域等における多面的機能の維持・推進を一層図るため、自律的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備に向けた前向きな取組等を推進するとの考えの下で、本制度を継続的に実施することとする。

【急傾斜地(水田) 傾斜 1/20 10a 当たり 21,000 円交付]

効果

- 農業生産活動の継続
 - ・耕作放棄地の復旧、防止
 - ・農道、水路の適切な管理
- 多面的機能の発揮
 - ・農作業体験を通じた都市住民との交流
 - ・周辺林地の下草刈
 - ・景観作物の作付等
- 集落営農化等自律的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備

25日となりました。

今後は実行委員会を柱に、鳳来町民、地域住民が一丸となって、全国から訪れる棚田関係者をつつがなく迎えるため、そして、サミット成功を願い、頑張りますよう。

みんなでわくわく

千枚田サミット

二月十九日〔土〕午後一時十五分から連谷小学校ホールにおいて「みんなでわくわく千枚田サミット」が開かれます。

内容はサミット開催に向けてこれまでの経過と今後の方向性について「私の千枚田への思いと千枚田保存活動」と題して小山舜二が講演します。また、サミット花いっぱい運動の一環として、親子でプランター枠の作成などを行います。当日は一般の方たち、大勢の参加をお待ちします。

キャラクター

棚田サミット開催に向け、イメージキャラクターが決まりました。

愛知万博でおなじみのモリゾー・キッコロ同様、これからサミットに向け活躍をしてもらいます。：可愛がってください：



2005



皆様のお越しをお待ち申し上げます

「ロゴマークは鳳来町塚島の西川勝也さんデザインによるものです」

復田

名古屋市に本社のある水環境関連会社「エステム」の皆さんが千枚田の入り口付近で5年間休耕していた田んぼを今年から作つてくれることになりました。

一月十六日には霜柱の立つ休耕田を鍬と備中で田起こしを行い、皆んな、いい汗をかいたと輝いて(へトへト)になっていました。

湧き水

▽激震地、山古志村の棚田でニシキゴイの養殖をしている友人から「山古志は必ず復興する」と力強い年賀状をもらった。

本当にひどい目にあつたが「頑張っておくれん」と心の中でしか言えず、つい、涙が滲んじやつた。

行 平成十七年一月二十日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二